

第

四

種

此の部には、一段全く教訓的意義を含ませずして却て有害なる語句あるもの、或は一二風教上に資すべ  
 き材料ありども、段中軟弱卑猥の語句多く、徒らに青年子女の劣情を挑發せしむる嫌あるもの、又は  
 作者が人情の弱點を捉へて、婦女子の歡を買はんがために趣向脚色せりと認めらるるもの等、總て  
 風教上有害なりと思惟せらるるものを擧げたり。中には本朝廿四孝十種香の段、新版歌祭文野崎村の  
 段、傾城戀飛脚新口村の段、戀娘昔八丈城木屋の段などの如く、普く人口に膾炙せられ、聲曲上に  
 は惜しがるべきものもあれど、風教上よりして之を觀るときは、斷然排除すべきものなりと信ず。か  
 る類の語り物に戀々たるは、これやがて義太夫全部の價値を墮す所以なるを想へばなり。